

2017 年 和鉄の道 Iron Road【17】の口絵



口絵-1 注目の愛媛大 村上恭通教授の鉄の起源説 解明への期待膨らむ

2016年 ヒッタイト以前の世界最古の鉄の発見と地中海東岸の銅の産地での銅製錬の副産物として鉄が生まれた可能性を提案され、大きな話題に。

口絵-2 淡路島北部津名丘陵 弥生時代山間地集落群の拠点集落

鉄器工房を有する舟木遺跡の出土 淡路島が卑弥呼の時代の謎を解き明かす?

国生み神話・松帆銅鐸・鍛冶工房・朝鮮半島交易の海の民・野島&三原の海人等々

口絵-3 「ステンレス スチール」という名前のバラ

口絵-4 奥播磨の中国山地から古代たたら郷を流れ出た千種川の河口赤穂

千種川 砂鉄の痕跡を探して 兵庫 100名山 赤穂市「黒鉄山」と赤穂千種川河口

口絵-5 燃え滾るたたら炉の火花 「鉄のまほろば」の本の表紙を飾る

山陰地方の社会・文化を紹介した本「鉄のまほろば 山陰たたら郷を訪ねて」



□絵-1 愛媛大古代鉄研究所長村上恭通教授の鉄の起源説 解明への期待膨らむ

2016年 ヒッタイト以前の世界最古の鉄の発見と地中海東岸の銅の産地での銅製錬の副産物として鉄が生まれた可能性を提案され、大きな話題に。

愛媛大 東アジア古代鉄研究所
第10回 鉄の起源とユーラシア大陸のIron Roadの探求 国際シンポジウム 2017.11.25

今日のテーマは金属器・鉄器の源流 鉱物資源の豊富な文明の先進地 西アジアにおける石器→銅器→青銅器→鉄器への金属器の普及とその過程

日本の研究者たちの活躍で従来の常識が次々と覆る西アジアの様相 最前線で活躍中の専門家たちのレビューと相互討論から、金属器・鉄器が誕生し、普及してゆく実像が次々と浮かび上がってくる。今まで西アジアとひとくくりでしか知らなかった文明の先進地 ヒッタイトのアナトリア 銅の大産地 地中海沿岸エヴァント・パレスチナ そしてエジプト・メソポタミア みんな違う様相をしめしめながら、交際の広いネットワークで、支えあう。そして、そんな中で、銅器・鉄器が生まれ、利器へと展開し、世界へ伝播すしてゆく。まったく知らなかった展開にびっくり これからさらにどんな新しい展開があるのか 楽しみな西アジアでの共同連携の始まりです

第10回 愛媛大学 東アジア古代鉄文化研究センター国際学術シンポジウム
文明と金属器 - 普及とその過程 - 聴講記録 by Mitsu Nakanishi
2017.11.25. 松山 愛媛大学 南加記念ホール

プログラム

- 「金属器の故郷アナトリア」 津本 英利 (古代オリエント博物館)
- 「シヴァントにおける金属器の導入とその背景」 山崎 正敏 (奈良文化財研究所)
- 「ギザのピラミッドの銅と鉄」 河江 真典 (名古屋大学)

討論 コーディネーター 村上 恭通 (愛媛大学) 畑守 泰子 (愛媛大学)

銅など金属器発祥の地西アジア諸国での 日本の研究 たちの連携人工鉄起源共同調査が進むにつれ、銅の主産地である地中海東海岸・パレスチナ周辺の金属器普及の状況が明らかになりつつあり、さらに人工鉄起源解明の期待が膨らんでいるが、成果はまだこれから。

人工鉄の起源を探る 定説を覆すヒッタイト帝国以前の世界最古の鉄 出土
カマン・カレホユック(トルコ)
世界最古の鉄 ヒッタイト(Hittites) 帝国以前の鉄

2017年11月25日(土) 松山 愛媛大学 南加記念ホール
2017年11月25日(土) 松山 愛媛大学 南加記念ホール

西アジアにおける初期鉄器関連地図 銅の主要生産地 地中海沿岸で初期鉄器が多数出土
そして、ヒッタイト滅亡後の鉄器時代の始まりの時代に この銅主要生産地 パレスチナに 対して アッシリアが鉄の貢納を要求している

西アジアにおける初期鉄器関連地図

銅の主要生産地で 初期鉄器が多数出土
パレスチナが 銅の副産物として人工鉄が生まれたとの説が 提案されている

鉄鉱石の産地でもない銅の主産地 パレスチナで ヒッタイト滅亡後もアッシリアが鉄を貢納させている。これはこの地ですと製鉄が行われてきたらわれか?

▲ 主な鉄鉱山(現代)
● 前11世紀頃までの鉄器が発見された遺跡
● アッシリア帝国の都城など、都市遺跡
□> アッシリア帝国に鉄を貢納させられた国々

西アジアにおける初期鉄器関連地図

口絵-2 淡路島の弥生時代の鉄器工房を有する山間地集落群の中心 拠点集落

淡路島が卑弥呼の時代の謎を解き明かす？ 津名丘陵 南あわじ市 舟木遺跡の出土

国生み神話・松帆銅鐸・鍛冶工房・朝鮮半島交易にかかわる海の民・野島&三原の海人等々

近くの五斗長垣内遺跡を上回る
新たな「弥生の鉄器拠点とみられる国内最大級の鍛冶工房跡」が出土
2017.1.26. 神戸新聞他の朝刊より

淡路島北部 弥生後期の山間地集落遺跡群群の中心集落「淡路市 舟木遺跡」
近くの五斗長垣内遺跡を上回る新たな「弥生の鉄器拠点とみられる国内最大級の鍛冶工房跡」が出土
2017.1.26. 神戸新聞他の朝刊より

鉄器の交易なりわいか
淡路に近畿最大の工房跡

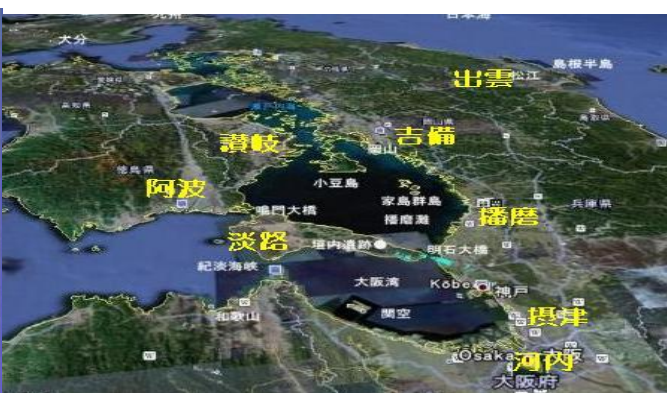
「海の民」との関係も推認
邪馬台国前の社会、解明期待

淡路弥生期の鉄器拠点
工房跡発見、近畿最大か
五斗長垣内、近く 小型工具も出土



No.	遺跡名	立地 (標高)	時期				特徴
			前期	中期	後期	終末期	
1	天神遺跡	15m					大粒系磨製石斧、石包丁
2	横入遺跡	10m					水田
3	橋本下林遺跡	17m					
4	佃遺跡	10m					
5	富島遺跡	5m					製塩土器
6	畑田遺跡	5m					製塩土器
7	貴船神社遺跡	5m					製塩土器
8	五斗長垣内遺跡	200m					鎌池遺跡・鉄器・赤色顔料・イダコ蓋 大型型穴遺物跡・製塩土器
9	舟木遺跡	190m					台石・鉄器
10	山ノ神遺跡	197m					台石・鉄器
11	袖ノ平遺跡	210m					大型型穴遺物跡・台石・鉄器・イダコ蓋
12	穴郷遺跡	260m					イダコ蓋
13	久野々遺跡	270m					遺状敷布
14	おぎわら遺跡	260m					ヤリコナ
15	大板遺跡	100m					製塩土器・土橋
16	行免形遺跡	105m					製塩土器
17	栗山遺跡	122m					大型型穴遺物跡
18	肥ヶ岡遺跡	130m					
19	塩巻西遺跡	60m					大型型穴遺物跡
20	塩巻東遺跡	40m					大型鉄鏡・鉄土坑

※ 凡例 ●・・・遺構を検出 ○・・・遺物が出土



口絵-3 「ステンレス スチール」という名前のバラ



5月末 須磨離宮の春のバラ展を見に行き、「ステンレス・スチール」の名前が付いたバラを見つけました。
一時話題になったサントリーの青いバラに近い薄い色のバラで「薄い緑色の美しいバラで、花の香りもよい」と説明されてい
ました。咲き進むにつれて、幻想的なラベンダー色に変化してゆく印象的なバラだともいい、
鏡面に磨かれた鋼のようなシャープな色が名前の由来で、1991年にアメリカで作られたという。
鋼がバラの花の名前になるとは想像ができませんでしたが、鏡面に磨き上げられた鋼の肌光がイメージされたのか・・・

口絵-4 奥播磨の中国山地から古代たたら郷を流れ出た千種川の河口赤穂
 - 千種川 砂鉄の痕跡を探して - 兵庫 100 名山 赤穂市「黒鉄山」と赤穂千種川河口-



県道56号線が走る赤穂海浜大橋から上流の新赤穂大橋を眺める 2017.8.19.



街の背後にそびえる黒鉄山とその頂上から眺めた千種川の河口に広がる赤穂の街



口絵-5 燃え滾るたたら炉の火花 「鉄のまほろば」の本の表紙を飾る

たたら製鉄が育んだ山陰地方の社会・文化を紹介した本「鉄のまほろば 山陰たたら郷を訪ねて」

地方の新聞社が出版する本の新聞広告欄「ふるさと発見 新聞社の本」に 山陰中央新報社編

「鉄のまほろば ～山陰たたら郷を訪ねて～」が「今も残る日本遺産のたたら製鉄。山陰を中心に訪ねる」の紹介文とともに掲載されているのを見つけ、「鉄のまほろば」
 「今も残る日本遺産 山陰たたら郷を訪ねて」の紹介文に魅かれて、神戸の駿々堂書店を覗くと、金属の書籍棚の隅っこに置かれているのを見つけました。

「国のまほろば 大和」「北のまほろば 津軽」など
 「まほろば」の言葉には なんと心地よい響きがある。
 深く考えたことはないが、素晴らしいとか うるわしい
 豊たかなどのセンター的な地域や場所をさすのだと思って
 いました。

「大和は 国のまほろば
 たたなづく 青垣山ごもれる 大和し 美し」
 古事記 倭建命
 司馬遼太郎 街道をゆく 41 巻
 「北のまほろば (津軽)」



山陰中央新報社